



指扇中だより



～WE LOVE SASHIOGI!～

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

『すみれ色の涙』

校長 おおこうちのりかず 大河内 範一



私は少々涙もろい。幼少の頃に、アンデルセン童話の『人魚姫』を読んだ際、最後に主人公が海の泡になってしまうシーンでは、はらはらと涙が頬を伝った。毎年夏の終わりに何気なく見ている『24時間テレビ』でも、人々が協力しながら必死に努力している場面

になると、家族に悟られぬように忍び泣いている。

自分自身の卒業式では、小学校から大学までコンスタントに泣いてきたし、教師となって、自分が担任した生徒たちの卒業式でも確実に涙を流してきた。また、娘の卒園式に至っては、園児入場の際、先頭の見知らぬ子どもが会場に一步踏み出した瞬間に涙がこぼれてきた。まさに「決壊」という言葉が相応しい状況だ。

この3月の卒業式でも御多分に洩れず、かなり早い段階から涙が溢れてきた。花粉症のものとミックスされた鼻水も大量に溢れてきて、式辞を読んでいる舞台上では大変なことになっていたのだが、この御時世、マスクで全てを包み隠すことができたのは幸運だったと言える。

精神科専門医の書物によると、泣くことでストレスホルモンが体外に排出され、デトックス効果で気持ちがスッキリしたと感ずることがあるとのこと。また、涙を流すことで自分の本当の気持ちに気付く、少しずつ自分を解放できるようになる人もいるとのこと。実は「泣く」ことは心身共にメリットだらけなのである。

学校生活が始まると、生徒たちが行事で躍動している姿を眺めるたびに、合唱の美しいハーモニーを聴くたびに、部活の試合で勝利の笑顔を見るたびに、惜敗して無念の表情を見るたびに、心が震え、胸が熱くなる。学校は感動で満ち溢れた場所なのである。表記タイトルは80年代のヒット曲であるが、「すみれ」の花言葉は「小さな幸せ」。新年度が始まるが、皆さんには楽しい時には笑い合い、感動した時には涙を流し、感情を豊かにして学校生活を送ってほしい。そして、ドラマチックな日々を過ごし、小さな幸せを1つ1つ積み重ねてほしいと願う。

保護者の皆様、お子様の御入学・御進級おめでとうございます。184名の新入生を迎え、全校生徒482名でスタートしました。今年度も、学校を美しく彩りながら、安心・安全で明るく楽しい教育環境づくりを推進してまいります。また、保護者や地域の方々から愛される学校になるように、「チームワークとフットワーク」を意識して頑張ってまいりますので、よろしく願いいたします！